

「落花生」生育情報（第2報）

～ 基本技術を励行して収量増加！ ～

令和4年8月19日

千葉県農林水産部

生産振興課

※本資料は、落花生生産者へ落花生の生育情報を提供するものです。
調査時点での生育状況をまとめたものであり、本年の収量を保証するものではありません。

1 生育状況

アメダス（佐倉市）では、7月から8月にかけて、平均気温、日照時間ともに平年を上回って推移し、生育は順調です。降水量は少なく乾燥気味に推移しています。7月中旬及び8月上旬にまとまった降雨があり、土壌水分は最低限保たれているものの、地域によって降雨が少ない場所もあり、干ばつによる空さやの発生の恐れがあります。

8月10日時点の作況調査ほ及び落花生研究室のほ場では、7月上中旬の気温が高く、日照時間が長く推移したことにより、地上部の生育及びさや実の生育は平年を上回っています。一方で、標準播種（5月中下旬）の「おおまさりネオ」については6月から7月にかけての干ばつの影響を受け、さや数は多いものの、さや乾物重が低く推移しています。

表1 作況調査成績（8月10日調査）※対比は平年比

品 種 名	年次	は種日	開花期	地上部 生体重 (g/m ²)	地上部 乾物重 (g/m ²)	さや数 (個/m ²)	生さや重 (g/m ²)	さや 乾物重 (g/m ²)	最長 分枝長 (cm)
千葉半立	本年	5/26	7/6	3000	587	135	495	66	47
	平年	5/26	7/8	2294	395	100	306	42	40
	対比	(±0)	(-2)	131%	148%	136%	162%	156%	118%
ナカテユタカ	本年	5/26	7/1	2443	514	212	807	156	46
	平年	5/23	7/3	1946	348	163	565	103	35
	対比	(3)	(-2)	126%	148%	130%	143%	151%	130%
Qなつつ (千葉P114号)	本年	5/31	7/5	2712	550	177	633	91	54
	平年	5/29	7/5	2078	348	155	531	79	45
	対比	(2)	(±0)	131%	158%	115%	119%	116%	121%
おおまさり ネオ	本年	5/23	7/1	2853	555	153	612	84	54
	前年	5/23	7/1	1828	376	133	592	90	34
	対比	(±0)	(±0)	156%	147%	115%	103%	94%	158%

* 本年値は、各調査地点の平均値。「千葉半立」は千葉・印旛・香取地区、「ナカテユタカ」は千葉・海匝・長生地区、「Qなつつ」は印旛・香取・長生地区、「おおまさりネオ」は千葉・印旛・君津地区。

* 平年値は、圃場変更がない限りは過去7年間（「千葉半立」、「ナカテユタカ」）または過去6年間（「Qなつつ」）の調査データから最大・最小を除く平均。ただし、「おおまさりネオ」は前年との比較値。

* 対比はラウンド処理をしているため、小数点以下が合わない場合がある。

* 開花期は、1輪でも花が咲き始めた株がほ場全体の50%に達した日。

表2 (参考) 落花生研究室(八街市)の作況(本年の値、8月10日調査)

は種日	品 種 名	開花期	地上部 生体重 (g/m ²)	地上部 乾物重 (g/m ²)	さや数 (個/m ²)	生さや重 (g/m ²)	さや 乾物重 (g/m ²)	最長 分枝長 (cm)
5月20日 (標播)	千葉半立	6/30 (-1)	3,436 (141%)	603 (126%)	194 (151%)	636 (160%)	76 (131%)	52 (127%)
	ナカテユタカ	6/28 (±0)	2,583 (150%)	474 (137%)	280 (146%)	855 (145%)	135 (130%)	40 (115%)
	Qなつつ	6/29 (±0)	2,228 (125%)	423 (122%)	246 (134%)	817 (145%)	132 (137%)	49 (120%)
	おおまさりネオ	6/28 (±0)	2,874 (128%)	528 (119%)	193 (127%)	483 (90%)	58 (79%)	44 (114%)
6月9日 (晩播)	千葉半立	7/11 (-3)	3,129 (163%)	520 (158%)	54 (120%)	217 (178%)	23 (184%)	45 (127%)
	ナカテユタカ	7/8 (-5)	2,561 (158%)	413 (138%)	134 (157%)	522 (194%)	68 (228%)	45 (140%)
	Qなつつ	7/10 (-4)	2,316 (158%)	418 (155%)	146 (167%)	610 (225%)	74 (237%)	46 (129%)
	おおまさりネオ	7/8 (-5)	2,984 (145%)	518 (151%)	90 (180%)	282 (210%)	34 (218%)	44 (124%)

*栽植密度は5,128株/10a。

*カッコ内は、平成29年～令和3年の平均値対比を示す。

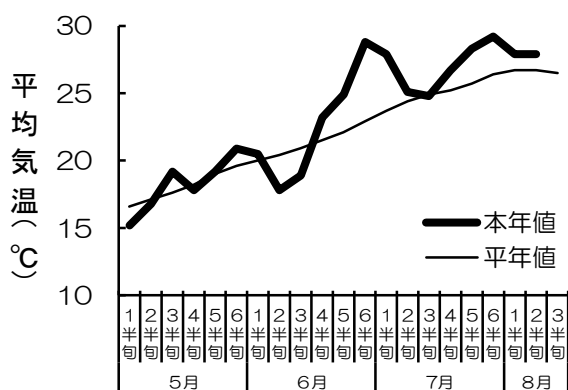


図1 気温の推移(アメダス、佐倉)

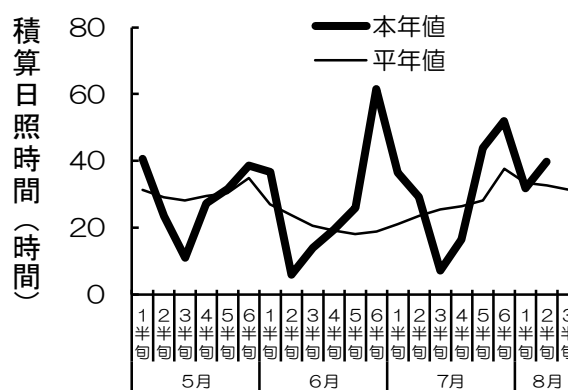


図2 日照時間の推移(アメダス、佐倉)

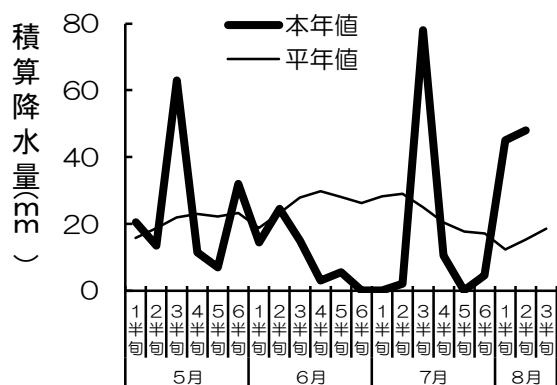


図3 降水量の推移(アメダス、佐倉)

2 これからの管理のポイント

(1) 病虫害防除

1) 発生状況

ヨトウムシ等による葉の食害及びヒョウタンゾウムシによるさやの食害が平年よりやや多く見られます。一方で白絹病の発生は平年より少ない状況です。

2) 今後の対策について

薬剤の使用に当たっては、収穫前使用日数に注意しましょう。薬剤散布は、農薬のラベルに記載された使用基準に従って行ってください。

なお、白絹病については今後の天候によっては発生が多くなる可能性があります。薬剤散布だけでは十分な効果が望めない場合は、罹病株を株元の土ごと除去し、被害の拡大を防止しましょう。

表3 防除薬剤

病害名	適用薬剤名	希釈倍数等	使用時期／回数
褐斑病	トップジンM水和剤	1,500～2,000倍	収穫7日前まで／4回
	ベンレート水和剤	2,000～3,000倍	収穫7日前まで／4回
白絹病	アフエットフロアブル	2,000倍	収穫前日まで／3回



褐斑病



白絹病

(2) かん水の徹底

開花期後20日及び40日を目安にかん水を実施します。5月中旬に播種している場合は、子実の充実期を経過しているため、今後のかん水の必要性は低いですが、晩播(6月中旬以降)に播種した場合や、子実の充実に水分を要する「おおまさりネオ」については、今後の天気によってはかん水を徹底しましょう。

- **開花期後20日頃から、週1回を目安にかん水し、採種する場合は、開花期後40日頃にもかん水しましょう。**
- **1回のかん水量は、30ミリ以上の「十分なかん水」を心がけましょう。**
- **「おおまさりネオ」は、さやの充実期に、多くの水分が必要です。**
開花期後20～60日頃にかけて定期的にかん水をしてください。

(3) 「試し掘り」で適期収穫

落花生の掘取時期の目安は、下表のとおりです。

今年は遅まきの生育が平年よりも早く、収穫が早まる可能性もあるため、必ず試し掘りをして、収穫適期を逃さないようにしましょう。また、砂地の地域では収穫時期が早まる傾向にあるので、早めに試し掘りをしてください。

掘り遅れた場合、「ナカテユタカ」は食味が低下し、「Qなっつ」は落ち実が発生しやすくなるので、特に注意が必要です。

表4 開花期からの掘取時期の目安

	千葉半立	ナカテユタカ	Qなっつ	おおまさりネオ
開花期からの掘取時期の目安	95日後	80日後	80日後	85日後 (ゆで豆用)

表5 落花生研究室（八街市・マルチ栽培）での収穫期目安

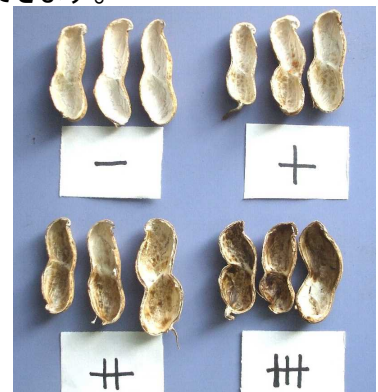
	は種日	開花期	収穫期目安
千葉半立	5月20日	6月30日	10月 3日
	6月 9日	7月11日	10月14日
ナカテユタカ	5月20日	6月28日	9月16日
	6月 9日	7月 8日	9月26日
Qなっつ	5月20日	6月29日	9月17日
	6月 9日	7月10日	9月28日
おおまさりネオ	5月20日	6月28日	9月21日
	6月 9日	7月 8日	10月1日

収穫適期判断法

「ナカテユタカ」及び「Qなっつ」は、さやの裏の色で収穫適期が判断できます。

＜方 法＞

- ①ほ場の中で生育が中庸な4株を掘り、それぞれの株もとのさやを5つとり、さやの裏の色を見ます。
- ②合計20個のさやのうち、その半数以上の色が淡褐色(写真+)以上になり、黒褐色(写真+++)のさやがひとつでも見られたときが掘取りの適期です。
- ③開花期から予想される適期の7日前から、2、3日おきに試し掘りをして判定します。



(4) 台風対策

栽培期間中に台風が接近した場合は、以下の対策をしましょう。

ア 栽培中及び乾燥中ともに冠水しないように排水路を整備する。

イ 台風後に病害が発生しやすいので、よく観察し、必要に応じて表3を参考に殺菌剤を散布する。